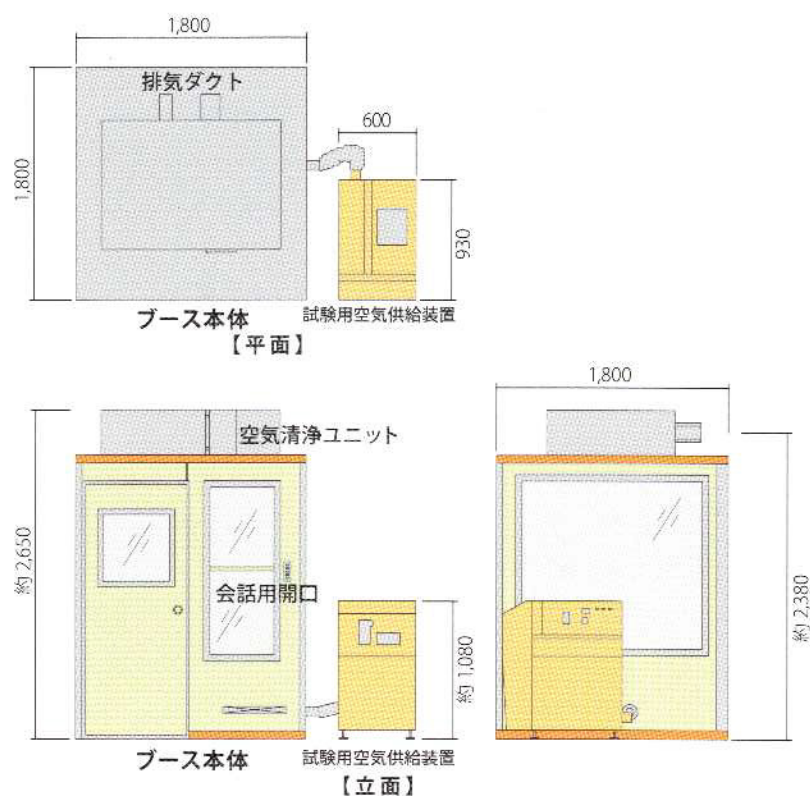


■ チャレンジブース 外観



■ チャレンジブース 仕様

項目	仕様	
対象化学物質(※1)	ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン	
発生方法	ホルムアルデヒド：固体昇華法 トルエン、キシレン：液体揮発法	
濃度範囲(※2)	厚生労働省室内濃度指針値の0.5～1.0倍	
寸法	ブース	1,800 ^W × 1,800 ^D × 約 2,300 ^H
	試験用空気供給装置	930 ^W × 600 ^D × 約 1,080 ^H
	空気清浄ユニット	1,400 ^W × 1,080 ^D × 350 ^H
設置室温湿度	23℃ ± 3℃、40% ~ 60%RH	
排気風量	80 (弱)、200 (強) m ³ /h	
電源	1φ × 100V × 1kW	

※1 他の物質については確認して下さい ※2 厳守願います

ご使用上の注意

- 本システムでチャレンジテストを行える化学物質は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレンの3物質とします。
- 本システムによるチャレンジテストの曝露濃度は、使用するそれぞれの化学物質について、厚生労働省が制定した室内濃度指針値以下に設定してお使い下さい。
- 本システムは高度な環境調整室およびそのシステムとは違い、簡易的な構成となっているため、ブース内清浄度あるいは化学物質の曝露濃度は、外気および周辺条件に影響される場合があります。
- 本システムは医療機器には該当しないため、使用は担当医師のご判断で使用して下さい。

※改良のため、予告なく仕様等を変更させていただく場合があります。

 新菱冷熱工業株式会社

〒160-8510 東京都新宿区四谷2-4

代表 ☎ **03-3357-2151**

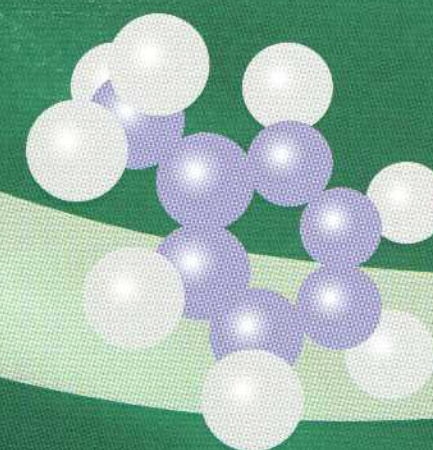
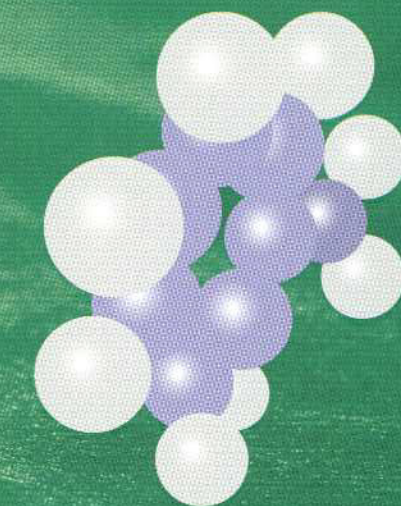
● お問い合わせ



環境負荷低減のため、このカタログはSOYINK および再生紙を使用しています

Challenge Booth

チャレンジブースシステム





化学物質過敏症・シックハウス症候群患者のための
**原因物質の解明をサポートし、
 そして安全で健康な未来へ**

化学物質過敏症・シックハウス症候群といった身近な室内空気環境に関わる問題は大きく社会問題として取り上げられています。チャレンジブースは、患者にとって、どの化学物質が原因物質であるかを解明する環境装置で、人々の安全・健康に役立つ画期的なシステムです。(特許出願中)

Challenge Booth

■ 対象となる化学物質

ホルムアルデヒド、トルエン、キシレンといった3物質がテストの対象となります。それぞれの化学物質が及ぼす健康への影響は下記のとおりで、人によってはその症状は様々ですが、重症になると通常の社会生活は困難になるケースもあります。

ホルムアルデヒド (Formaldehyde)



人体に与える影響
 鼻・喉頭への刺激、流涙、くしゃみ、せき、吐き気、呼吸器障害、発がん性

トルエン (Toluene)



人体に与える影響
 倦怠感、知覚障害、吐き気

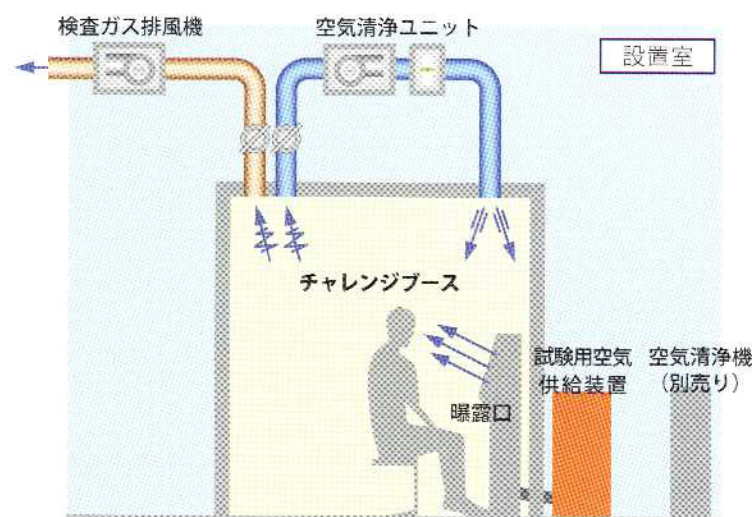
キシレン (Xylene)



人体に与える影響
 目・喉頭の刺激、知覚障害、吐き気

■ システムの設置

チャレンジブース設置には、本システム設置の他に排気設備、電気設備工事が必要です。また、設置室の清浄度維持のためには専用の空気清浄機の設置をお勧めしています。



【チャレンジブースシステム構成の例】

Challenge Booth

■ チャレンジブース利用の流れ

チャレンジブースではきれいな空気を供給し、原因物質の解明を図ります

システムのウォームアップ

- ①測定機器の暖機運転をしておきます。(約30分間) 暖機運転後、モニター類のゼロ校正を行います。
- ②空気清浄ユニットを使用して、ブース内部をきれいにします。(約5分間)

チャレンジテストの開始・終了

- ①患者を入室させます。
- ②試験用空気(化学物質)をブースに供給し、どの物質がどのくらいの濃度で患者に影響を及ぼすかテストします。
※ブースに送られる化学物質は厚生労働省が制定した室内濃度指針値以下です。
- ③チャレンジテスト終了後、患者を退室させます。

システムのクールダウン

- ①ブース内に残っている化学物質を排出するため、排気運転をします。(約5分間)
- ②試験用空気供給装置とブースのクリーンアップをします。(約25分間)
- ③全ての電源を切り、チャレンジテストを終了します。

■ コミュニケーション力の向上

入り口付近に小さな開口を設置してありますので、室内の患者との会話ができ、安心してテストを受けていただくことができます。



■ 使いやすい操作パネル

試験用空気供給装置に付属する操作パネルは操作性を重視して作られていますので、スムーズに操作できます。

